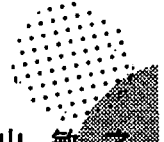


# アルミでつくるおもちゃ クルクルUFO

札幌市立屯田小学校 内山敏之

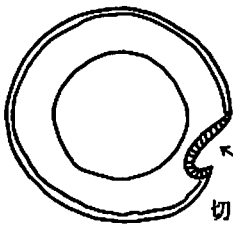


子どもたちは、凧・パラシュートなどの風で動くおもちゃをつくと楽しそうにグラウンドいっぱい走り回り、風と一体になって遊びます。その遊びの中で、目に見えない風の動きや空気の流れを敏感に感じ取ることができます。

そこで、子どもの頃、二股の枝にゴムをつけてつくったパチンコ。このパチンコを応用して、身近にあって低学年の子どもたちでもすぐつくれ、風と遊べるアルミ皿の「クルクルUFO」をつくってみましょう。

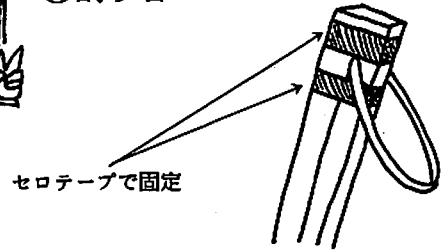
主な材料は、

①アルミ皿



切り口にガムテープなどを貼る

②割り箸・ゴム



パチンコの応用なので、原理はまったく同じで、二股の枝の代わりに割り箸を使い、玉（石など）の代わりにアルミ皿を使うのです。

まず最初に、割り箸に輪ゴムを引っ掛けます。次にアルミ皿ですが、輪ゴムが引っ掛かりやすいように一部に切れ込みを入れましょう。

この遊びは、皿が軽いために風にあおられるなどして、どこへ飛んでいくか分からないというおもしろさがあります。この遊びをヒントに空中を飛ぶいろいろなおもちゃをつくり出せそうですね！

